

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月9日

上場会社名	名古屋鉄道株式会社	上場取引所	東証一部・名証一部
コード番号	9048	URL	http://www.meitetsu.co.jp
代表者	取締役社長	木下 栄一郎	
問合せ先責任者	取締役監理部長	加藤 敏彦	TEL (052) 588 - 0846

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	155,697	4.4	6,805	10.9	5,608	5.5	1,913	0.9
19年3月期第1四半期	162,922	8.5	7,641	16.1	5,932	18.8	1,896	43.8
19年3月期	696,927	5.9	35,089	9.9	30,118	3.3	12,865	2.7

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	2.17	2.05
19年3月期第1四半期	2.15	2.03
19年3月期	14.62	13.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	1,244,924	219,709	16.3	230.29
19年3月期第1四半期	1,240,619	217,119	16.0	225.82
19年3月期	1,233,327	219,613	16.4	229.66

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	7,684	27,540	23,142	13,932
19年3月期第1四半期	16,483	14,932	6,468	20,767
19年3月期	43,900	14,507	32,014	10,136

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)[参考]

(％表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
中間期	357,000	5.9	15,000	6.0	14,000	3.3	1,000	60.9	1.14
通 期	720,000	3.3	31,000	11.7	26,000	13.7	14,500	12.7	16.48

前回発表時(平成19年5月14日)の予想から変更ありません。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) :無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 :無

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 :有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4 その他を参照してください。]

(参考)個別業績の概要

1. 平成20年3月期第1四半期の個別業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 個別経営成績

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	26,089	0.3	6,178	0.3	6,942	8.5	3,987	61.8
19年3月期第1四半期	26,014	3.0	6,196	5.9	6,398	3.0	2,463	82.0
19年3月期	104,410	0.5	19,467	9.5	15,595	10.0	7,636	1.7

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	859,027	188,291
19年3月期第1四半期	829,004	187,914
19年3月期	854,545	185,788

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、4ページを参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 6 月 30 日まで）におけるわが国経済は、原油高や金利上昇懸念等の不透明感があるものの、企業収益の改善や個人消費の増加等、緩やかな景気回復基調が持続いたしました。こうした状況下、当社及び当社グループの各事業部門は積極的な営業活動と経営の合理化に努めました結果、当第 1 四半期の営業収益は 1,556 億 97 百万円（前年同期比 4.4%減）、営業利益は 68 億 5 百万円（前年同期比 10.9%減）、経常利益は 56 億 8 百万円（前年同期比 5.5%減）となり、四半期純利益は 19 億 13 百万円（前年同期比 0.9%増）となりました。

なお、当第 1 四半期においては、新たに設立した名鉄 I C カード(株)及び豊鉄バス(株)を連結の範囲に含めました一方で、名鉄四日市タクシー(株)が連結子会社でありました橋北タクシー(株)と合併いたしました。これにより連結子会社数は 166 社となりました。また、持分法適用の関連会社でありましたグリーンシティケーブルテレビ(株)及び(株) J A L スカイ名古屋については、保有していた株式を売却いたしましたことに伴い関連会社でなくなりましたため持分法の適用範囲から除外し、持分法適用会社数は 20 社となりました。

事業の種類別セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

（運輸事業）

鉄軌道事業については、当社では空港線などを中心に輸送人員が引き続き増加傾向で推移いたしました。また、一部特別車特急車両 2200 系を 30 両新造するとともに、本年 6 月にダイヤ改正を行い、犬山～知多半田方面で運行しております全車特別車特急のうち、およそ半分を一部特別車特急に変更し、同区間では特別車と一般車を選択してご利用いただけるようにいたしました。このほか、朝間帯における中部国際空港アクセスと名鉄名古屋方面への利便性向上、最終列車の繰り下げや接続の改善、組成増強等を行い鉄道サービスの向上に努めました。また、バス事業については、名鉄バス(株)では高速バス「名古屋・奈良線」を新設するなど需要喚起に努めたほか、トラック事業については、名鉄運輸(株)では、流通倉庫事業部を設置し子会社の流通部門を含めて一元管理する体制を整備し、流通倉庫部門の再構築を進めましたほか、四国名鉄運輸(株)では、高知支店に流通加工施設を併設した倉庫を新設し営業拠点の整備を進めました。

この結果、運輸事業の営業収益は 829 億 76 百万円（前年同期比 0.1%増）となり、バス事業における減車やトラック事業における委託料削減及び燃費向上による燃料使用量の節減などの経費削減も加わり、営業利益は 54 億 81 百万円（前年同期比 14.0%増）となりました。

（不動産事業）

不動産事業については、当社では河和線知多半田駅東の社有地に 1 層 2 段の自走式立体駐車場「名鉄知多半田駅東駐車場」が完成するとともに、三河線刈谷駅南口に 9 階建賃貸オフィスビルの建設に着手するなど、社有地の有効活用を進めました。

名鉄不動産(株)では、「岡崎タワーレジデンス」や「エムズシティ稲沢」などの大型物件の販売を積極的に展開するとともに、多様化する顧客ニーズに対応するため名古屋市内にハウジングプラザ 2 店舗を新たに開設いたしました。

この結果、不動産事業の営業収益は 123 億 26 百万円（前年同期比 37.8%減）となり、営業利益も 17 億 78 百万円（前年同期比 47.7%減）となりました。

（レジャー・サービス事業）

ホテル事業については、名鉄イン(株)では名古屋市中区に「名鉄イン名古屋錦」（客室数 280 室）を開業いたしましたほか、(株)伊良湖リゾートでは「伊良湖ガーデンホテル」のリニューアルを行い、「セントグレゴリースパ イラゴ」やエグゼクティブフロアを新設いたしました。観光施設については、博物館明治村では質の高い芸能・芸術を歴史のある建物や空間を利用して発表する「第 2 回芸能・芸術祭 明治村トリエンナーレ '07」などのイベントが好評を得、入場者数は引き続き前年を上回っておりますが、前年度のテーマパークの新施設導入の効果が一巡したほか、旅行業の取扱も減少いたしました。

この結果、レジャー・サービス事業の営業収益は 150 億 2 百万円（前年同期比 3.7%減）となりましたが、旅行業における不採算店舗からの事業撤退に伴う経費削減などにより、営業損益は前年同期に比べ 1 億 30 百万円改善し 5 億 1 百万円の損失となりました。

(流通事業)

㈱名鉄百貨店では本年 3 月の本店 3 館一体化改装が増収に寄与しましたほか、外車販売も好調に推移いたしました。

この結果、流通事業の全体の営業収益は、442 億 60 百万円（前年同期比 2.6% 増）となりましたが、減価償却費の増加に加えて改装諸経費の計上もあり、営業損益は前年同期に比べ 8 億 31 百万円悪化し 4 億 32 百万円の損失となりました。

(その他の事業)

その他の事業の営業収益は、大口の保険更新時となり保険代理店業で増収となりましたほか、リース業も好調に推移いたしました。また、自動車整備業においても取扱量は減少いたしました作業の効率化を図りましたため、営業収益は 126 億 30 百万円（前年同期比 1.0% 増）、営業損益は前年同期に比べ 6 億 19 百万円改善し 1 億 63 百万円の利益となりました。

2 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末においては、総資産が前期末に比べ 115 億 97 百万円増加しております。これは、主として分譲マンション建設などに係る支出により分譲土地及びたな卸資産が 107 億 17 百万円、現金及び預金が 43 億 76 百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。また負債の部は前期末に比べ 115 億 1 百万円増加しております。これは、主として支払手形及び買掛金が 166 億 68 百万円、未払法人税等が 44 億 35 百万円それぞれ減少いたしました一方で、有利子負債が全体で 258 億 1 百万円増加したことなどによるものであります。

また、当第 1 四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ 37 億 95 百万円増加し、139 億 32 百万円となりました。これは、主として営業活動によるキャッシュ・フローが前年同期に比べ 87 億 98 百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが 126 億 7 百万円、前年同期に比べそれぞれ減少した一方で、財務活動によるキャッシュ・フローが前年同期に比べ 166 億 74 百万円増加したことによるものであります。

3 連結業績予想に関する定性的情報

今後の連結業績につきましては、運輸事業等での原油価格の高騰に伴う燃料費の増加やタクシー事業の運賃改定時期が当初より遅れる見込みであることなどのマイナス要因が懸念されますほか、名古屋圏での個人消費動向に注視が必要であります。分譲マンション販売などの不動産事業や観光施設等のレジャー・サービス事業の業績は概ね予想通りに推移しており、現時点では中間期、通期ともに平成 19 年 5 月 14 日発表時の業績予想からの修正はありません。なお、個別の業績につきましても、当初の業績予想から変更はありません。

この業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4 その他**(1) 期中における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当期より、平成 19 年度の法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降取得した減価償却資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5 (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

科 目	前期末		当四半期末		増減金額	前年同四半期末	
	平成19年3月31日現在		平成19年6月30日現在			平成18年6月30日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	構成比
(資 産 の 部)	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%
流 動 資 産	207,813	16.8	219,579	17.6	11,765	217,361	17.5
現金及び預金	11,271		15,648		4,376	22,759	
受取手形及び売掛金	60,989		54,443		6,545	58,605	
有 価 証 券	2		2		0	2	
分譲土地及びたな卸資産	107,786		118,503		10,717	100,669	
繰延税金資産	7,532		5,443		2,089	9,992	
そ の 他	20,766		26,080		5,313	25,865	
貸倒引当金	536		542		5	534	
固 定 資 産	1,024,908	83.1	1,024,792	82.3	116	1,022,621	82.4
有形固定資産	839,387	68.0	839,603	67.5	216	830,634	67.0
無形固定資産	14,523	1.2	14,118	1.1	405	14,027	1.1
投資その他の資産	170,997	13.9	171,070	13.7	72	177,958	14.3
投資有価証券	130,525		130,852		326	129,599	
繰延税金資産	13,295		12,972		322	11,668	
そ の 他	28,974		28,766		208	38,541	
貸倒引当金	1,798		1,521		277	1,850	
繰 延 資 産	605	0.1	553	0.1	52	636	0.1
資 産 合 計	1,233,327	100.0	1,244,924	100.0	11,597	1,240,619	100.0
(負 債 の 部)							
流 動 負 債	483,766	39.2	478,105	38.4	5,660	495,771	40.0
支払手形及び買掛金	95,366		78,697		16,668	69,353	
短期借入金	241,673		250,678		9,005	270,498	
1年以内に償還する社債	28,610		28,810		200	35,110	
繰延税金負債	27		12		14	18	
従業員預り金	29,030		28,815		214	30,108	
そ の 他	89,059		91,091		2,031	90,682	
固 定 負 債	529,947	43.0	547,109	44.0	17,162	527,728	42.5
社 債	119,716		124,461		4,745	113,272	
長期借入金	273,088		285,154		12,066	278,580	
繰延税金負債	67,305		67,586		280	62,587	
退職給付引当金	43,125		42,463		662	47,044	
そ の 他	26,711		27,444		732	26,243	
負 債 合 計	1,013,713	82.2	1,025,215	82.4	11,501	1,023,499	82.5

科 目	前期末		当四半期末		増減金額	前年同四半期末	
	平成19年3月31日現在		平成19年6月30日現在			平成18年6月30日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	構成比
(純 資 産 の 部)	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%
株 主 資 本	115,459	9.4	115,478	9.3	19	113,998	9.2
資 本 金	84,184	6.9	84,184	6.8	-	84,184	6.8
資 本 剰 余 金	18,435	1.5	18,435	1.5	0	18,435	1.5
利 益 剰 余 金	13,518	1.1	13,561	1.1	43	11,929	0.9
自 己 株 式	679	0.1	703	0.1	24	550	0.0
評 価 ・ 換 算 差 額 等	86,569	7.0	87,091	7.0	522	84,724	6.8
その他有価証券評価差額金	38,764	3.1	39,518	3.2	754	41,756	3.3
繰延ヘッジ損益(: 損失)	0	0.0	1	0.0	1	4	0.0
土 地 再 評 価 差 額 金	47,841	3.9	47,611	3.8	229	43,000	3.5
為 替 換 算 調 整 勘 定	36	0.0	40	0.0	3	36	0.0
少 数 株 主 持 分	17,585	1.4	17,139	1.3	446	18,396	1.5
純 資 産 合 計	219,613	17.8	219,709	17.6	95	217,119	17.5
負 債 純 資 産 合 計	1,233,327	100.0	1,244,924	100.0	11,597	1,240,619	100.0

(2) (要約)四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期		当四半期		増減金額	前 期	
	自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日		自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日			自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	金額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%
営 業 収 益	162,922	100.0	155,697	100.0	7,225	696,927	100.0
営 業 費	155,281	95.3	148,891	95.6	6,389	661,838	95.0
1 運輸業等営業費及び売上原価	139,500		132,618		6,881	596,727	
2 販売費及び一般管理費	15,781		16,273		492	65,111	
営 業 利 益	7,641	4.7	6,805	4.4	836	35,089	5.0
営 業 外 収 益	797	0.5	1,318	0.8	521	5,466	0.8
営 業 外 費 用	2,505	1.6	2,514	1.6	8	10,437	1.5
経 常 利 益	5,932	3.6	5,608	3.6	323	30,118	4.3
特 別 利 益	1,227	0.8	1,669	1.0	442	28,983	4.2
特 別 損 失	3,197	2.0	1,759	1.1	1,438	34,299	4.9
税金等調整前四半期 (当期)純利益	3,962	2.4	5,519	3.5	1,557	24,802	3.6
法人税、住民税及び事業税	2,244		1,075		1,169	7,383	
法人税等調整額	126		2,867		2,740	4,582	
小 計	2,371	1.4	3,942	2.5	1,571	11,965	1.7
少数株主利益(損失:)	305	0.2	336	0.2	30	28	0.1
四半期(当期)純利益	1,896	1.2	1,913	1.2	16	12,865	1.8

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期	当四半期	前 期
	自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日	自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日	自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,962	5,519	24,802
減 価 償 却 費	9,079	9,080	37,874
減 損 損 失	17	1	10,019
利息及び配当金の受取額	576	905	1,391
利息の支払額	1,928	2,265	8,797
割増退職金の支払額	127	140	176
法人税等の支払額	3,601	5,561	6,126
その他の	8,505	144	15,087
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,483	7,684	43,900
投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得による支出	20,545	33,480	60,478
固定資産の売却による収入	2,066	837	10,633
投資有価証券等の取得による支出	22	147	986
投資有価証券等の売却及び償還による収入	126	144	3,019
連結範囲変更を伴う関係会社株式の売却による収入	-	1,093	-
連結範囲変更を伴う関係会社株式の売却による支出	-	-	519
工事負担金等受入による収入	4,032	4,582	32,311
その他の	589	568	1,511
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,932	27,540	14,507
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金等の増減額	8,352	19,483	27,551
社債等の増減額	855	4,899	1,015
配当金の支払額	1,005	1,215	3,286
その他の	23	24	160
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,468	23,142	32,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2	3
現金及び現金同等物増減額(減少:)	8,017	3,284	2,617
現金及び現金同等物期首残高	12,613	10,136	12,613
連結範囲の変更等に伴う現金及び現金同等物増減高	136	510	140
現金及び現金同等物期末残高	20,767	13,932	10,136

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前年同四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

	運輸事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業	計	消又は全社	去社連	結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益及び営業損益									
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	82,257	17,504	15,211	40,191	7,756	162,922	-	162,922	
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	673	2,306	364	2,928	4,744	11,017	(11,017)	-	
計	82,931	19,811	15,576	43,119	12,501	173,940	(11,017)	162,922	
営業費用	78,124	16,412	16,207	42,721	12,957	166,423	(11,141)	155,281	
営業利益又は営業損失()	4,807	3,399	631	398	456	7,517	124	7,641	

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	運輸事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業	計	消又は全社	去社連	結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益及び営業損益									
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	82,239	10,113	14,619	41,271	7,453	155,697	-	155,697	
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	737	2,213	383	2,988	5,177	11,499	(11,499)	-	
計	82,976	12,326	15,002	44,260	12,630	167,196	(11,499)	155,697	
営業費用	77,494	10,548	15,504	44,692	12,466	160,707	(11,815)	148,891	
営業利益又は営業損失()	5,481	1,778	501	432	163	6,489	315	6,805	

前期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	運輸事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業	計	消又は全社	去社連	結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業収益及び営業損益									
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	334,462	84,996	66,526	166,236	44,705	696,927	-	696,927	
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	3,126	8,452	1,176	11,919	24,894	49,569	(49,569)	-	
計	337,589	93,449	67,702	178,155	69,600	746,496	(49,569)	696,927	
営業費用	320,463	78,517	66,080	178,367	67,684	711,113	(49,274)	661,838	
営業利益又は営業損失()	17,125	14,931	1,622	211	1,916	35,383	(294)	35,089	

(注) 1. 事業区分は日本標準産業分類をベースにした区分によっております。

2. 各事業の主要な内容

- | | | |
|-----------------|-------|---------------------------------|
| (1) 運輸事業 | | 鉄道、乗合・貸切バス、タクシー、トラック、海運等 |
| (2) 不動産事業 | | 不動産の分譲・賃貸 |
| (3) レジャー・サービス事業 | | ホテル・レストラン・観光施設の経営、旅行業 |
| (4) 流通事業 | | 百貨店業、石油製品等の販売、商品販売 |
| (5) その他の事業 | | 設備の保守・整備、建設、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等 |